

全国産業安全衛生大会プログラム

総合集会

平成20年10月22日(水) 12:15～16:45

会場 **きたえる** (北海道立総合体育センター)

交通 札幌市営地下鉄東豊線 豊平公園駅
地下通路直結

住所 北海道札幌市豊平区豊平5条11-1-1

開 場 10:00

アトラクション 12:15～12:50
「江差追分&津軽三味線」

木村 香澄
佐藤 俊彦

第1部

開 会 式 13:10～13:50

国歌斉唱

開会の辞

中央労働災害防止協会副会長

水野 耕太郎

大会式辞

中央労働災害防止協会会長

御手洗富士夫

祝 辞

厚生労働大臣

舩添 要一

祝 辞

北海道知事

高橋 はるみ

祝 辞

札幌市長

上田 文雄

挨拶

(社)北海道労働基準協会連合会会長

佐藤 佳孝

表 彰 式 13:55～14:25

顕功賞表彰、中災防会長賞表彰、平成20年度緑十字賞表彰、
平成20年度安全・衛生・快適考案表彰

大 会 宣 言 14:25～14:30

休憩 (10分)

第2部

講 演 14:40～15:00

「労働安全衛生行政の動向」

厚生労働省労働基準局

中間体操・休憩 (15分)

特別講演 15:15～16:45

「失敗学のすすめ」

工学院大学グローバルエンジニアリング学部教授 畑村 洋太郎

「失敗学のすすめ」

畑村 洋太郎 工学院大学教授・東京大学名誉教授

1941年東京生まれ。東京大学大学院修士課程修了後、㈱日立製作所へ入社。東京大学工学部教授を経て、現在、工学院大学教授・東京大学名誉教授・畑村創造工学研究所所長。ナノ・マイクロ加工、生産加工学、医学支援工学、創造設計原理を研究。2002年失敗学会を設立し、理事長として失敗学の普及を行っている。『失敗学のすすめ』など著書多数。

アトラクション

江差追分 ♪かもめの鳴く音にふと目を覚まし

あれが蝦夷地の山かいな♪

北国の風土と厳しい自然にもまれ、多くの先人達に歌い継がれ独特の哀愁おびた江差追分は、北海道指定の無形民俗文化財。「姥神大神宮渡御祭と江差追分」として北海道遺産に選定されている北海道の代表的な民謡。

木村 香澄

北海道江差町出身。

父が唄う追分を聞き、民謡を習い始める。幼少の頃より民謡や江差追分の全国大会において数々の賞を受賞（第29回江差追分日本一）。大黒摩季プロデュースのもと、民謡「ソーラン節」をアレンジした「ソーランBeat」の制作や、元YMO細野晴臣氏のアルバムCD「オムニ・サイト・シーング」で江差追分を担当。イギリス「スランゴスレン国際音楽祭」においてフォークソングソロ部門優勝。

津軽三味線

津軽地方（現在の青森県西部）で誕生した三味線。本来は津軽地方の民謡伴奏に用いられるが、現代においては特に独奏を指して「津軽三味線」と呼ぶ場合が多い。撥を叩きつけるように弾く打楽器の奏法と、テンポが速く音数が多い楽曲に特徴がある。

佐藤 俊彦

北海道室蘭市出身。

津軽三味線・民謡をこよなく愛し、日本古来の文化津軽三味線公演を北海道札幌市を中心に全道・全国・海外（海外公演実績 上海、豪州、ニューヨーク、ホノルル）にて活動。

平成10年にニューヨーク・カーネギーホールにてコンサートを開く。また家元とし佐藤流三絃会を発足し、津軽三味線全国大会にて過去6回の団体優勝を遂げる。